

コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

6件の報告があり、今年の累計は15件となりました。腸管出血性大腸菌に感染した場合、無症状や軽症で終わるものがほとんどですが、激しい腹痛、水様性の下痢、血便、嘔吐、高熱とともに、ときには重症となることもあります。特に、乳幼児や高齢者では、溶血性尿毒症症候群や脳症などの合併症を引き起こしやすいため、注意が必要です。(次頁参照)

2. 感染性胃腸炎

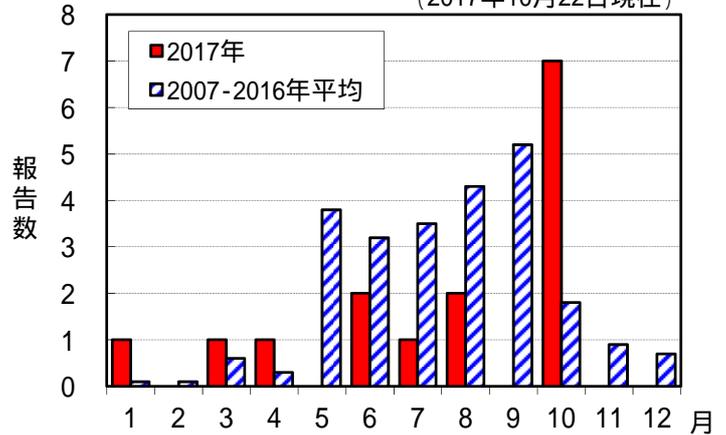
定点当たり4.46人と、前週と比べて増加しました。

3. レジオネラ症

1件の報告があり、今年の累計は22件となりました。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市)

(2017年10月22日現在)



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	増減		前週と比較しておおむね
												急増減	増減	
小児科	インフルエンザ	3	0.08	0.07		小児科	流行性耳下腺炎	5	0.21	0.69		急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	咽頭結膜熱	8	0.33	0.31		小児科	RSウイルス感染症	27	1.13	1.04		増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58	2.42	1.25	↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	107	4.46	4.27	↗	眼科	流行性角結膜炎	4	0.50	0.60		横ばい	↔	ほとんど増減なし
	水痘	10	0.42	0.48		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	手足口病	43	1.79	0.68	↗	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.06				
	伝染性紅斑	-	-	0.11		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.29				
	突発性発しん	4	0.17	0.45		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	百日咳	-	-	0.07		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-				
	ヘルパンギーナ	5	0.21	0.19										

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	113	女性(30歳代)・推定感染地域: 国外・1人、男性(60歳代)・1人、男性(80歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	6	15	女性(10歳未満)・026・4人、男性(30歳代)・026・1人、女性(30歳代)・026・1人
4	マラリア	1	3	女性(20歳代)・推定感染地域: 国外
4	レジオネラ症	1	22	男性(40歳代)

定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
			第38週	6	4	32	76	12	48	-	7	-	6	4	58	-	8	-	-	-	-	-	-
第39週	18	9	44	90	9	43	-	6	-	7	1	63	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	
第40週	7	6	53	88	10	38	3	4	-	5	1	41	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
第41週	3	5	40	69	4	25	2	9	-	5	3	35	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	
第42週	3	8	58	107	10	43	-	4	-	5	5	27	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	
定点当たり	広島市	第38週	0.16	0.17	1.33	3.17	0.50	2.00	-	0.29	-	0.25	0.17	2.42	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
		第39週	0.49	0.38	1.83	3.75	0.38	1.79	-	0.25	-	0.29	0.04	2.63	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
		第40週	0.19	0.25	2.21	3.67	0.42	1.58	0.13	0.17	-	0.21	0.04	1.71	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-
		第41週	0.08	0.21	1.67	2.88	0.17	1.04	0.08	0.38	-	0.21	0.13	1.46	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-
		第42週	0.08	0.33	2.42	4.46	0.42	1.79	-	0.17	-	0.21	0.21	1.13	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
	全国	第40週	0.21	0.44	1.67	3.15	0.23	2.12	0.04	0.42	0.01	0.49	0.33	1.95	0.01	0.85	0.02	0.03	0.32	0.01	0.01	0.01	0.01
		第41週	0.17	0.39	1.44	2.86	0.24	1.86	0.06	0.41	0.01	0.36	0.30	1.46	0.01	0.79	0.02	0.03	0.35	-	-	-	-

新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヘルパンギーナ	発熱(38.7) 上気道炎	5	男	2017/09/18	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の神経疾患	歩行障害 性格変化	7	男	2017/09/01	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型 ヒトヘルペスウイルス7型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう！！

腸管出血性大腸菌は、ペロ毒素を産生する大腸菌で、感染力が強く、汚染された食品を食べたり、患者や保菌者の汚染された手指を通して少ない菌量でも感染します。

なお、腸管出血性大腸菌は熱には弱く、75℃で1分間以上の加熱で死滅するため、食品を十分に加熱することが重要です。

予防のために、次のことに特に注意しましょう。

食材や調理器具は十分に洗浄し、手洗いを励行しましょう。

食品は長時間室温に放置せず、冷蔵庫や冷凍庫に保存しましょう。また、肉・レバーなどは中心部まで十分加熱し、生食は控えましょう。

オムツの取り扱いには十分注意しましょう。

【参考】

- 厚生労働省 わかりやすい感染症Q&A・腸管出血性大腸菌感染症(0157)
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou16/pdf/01c.pdf>
- 広島市感染症情報センターHP 正しい手の洗い方(感染症予防のために手を洗いましょう)
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1267092348907/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧くださいませ。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2017年第42週(10月16日～10月22日)